

令和元年第3回白馬村議会定例会一般質問表

番号	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁者
1	<p>9月5日(木)</p> <p>第3番 田中 麻乃</p>	<p>1 シェアリングエコノミーの推進について</p>	<p>シェアリングエコノミーとは、個人等が保有する活用可能な資産等（空間(スペース)、移動、モノ、スキル(時間)、お金)をインターネット上のマッチングプラットフォームを介して他の個人等も共有、売買、交換することで利用可能とする経済活性化活動です。令和元年6月21日に『骨太方針2019』『成長戦略2019』『まち・ひと・しごと創生基本方針2019』が閣議決定され、シェアリングエコノミーは3年連続地方自治体の行政課題を解決する重点施策として位置付けられています。少子高齢化や人口減少が叫ばれる昨今、これから自治体の財源が厳しくなっていくことは想像に難しくなく、時代の変化に対応した行政の課題解決、既存の行政サービスの維持など様々な分野で、自治体が支援する「公助」が厳しくなります。既存の資源を有効に活用し、シェアリングエコノミーが持つ「共助」の仕組みを取り入れることにより、人口減少等に伴う地域の公共交通問題、空き家問題、雇用問題、社会福祉、加えてインバウンド対策等の課題解決が期待されます。そこで以下について伺います。</p> <p>①村の行政サービスのあり方において、「公助から共助へ」というシェアリングエコノミーの概念をどのように考えるか伺います。</p> <p>②内閣官房シェアリングエコノミー促進室では、自治体の課題と対応するシェアリングサービスとして、行政サービスのジャンル1. 雇用創出2. 男女共同参画3. 社会福祉4. 公共交通5. 観光振興6. 公的不動産活用7. 民間資産活用8. 教育9. 農林水産10. 災害対策を挙げています。それぞれの村が持つ課題とシェアリングエコノミーの活用の考えを伺います。</p> <p>③総務省では、シェアリングエコノミー活用推進事業を実施しています。来年度に向けて活用を検討されてはいかがでしょうか。</p> <p>④『まち・ひと・しごと創生基本方針2019』でも、シェアリングエコノミーの例として遊休施設の活用における、サテライトオフィス、コワーキングスペースやテレワーク等による職住育近隣のまちづくりを推進するとあります。関連する平成29年度ふるさとテレワーク推進事業で整備された国際山岳観光資源×テレワークによる「しごとづくり・ひとづくりプロジェクト」の進捗状況と、今後の推進への取り組みを伺います。</p> <p>⑤シェアリングエコノミーを活用して行政課題を解決する等の事業を実現するには、ICTまたはIOTに関してある程度の知見を持ち、運用できる人材の確保が重要だと考えます。職員のICTおよびIOT人材育成の考えと取り組みを伺います。</p> <p>⑥シェアリングエコノミーの活用を含めて、IOTを活用した地域活性化を実現するには全ての地域住民のリテラシー向上が必要です。デジタル格差の現状と、解消に向けた村の考え、具体的な取り組みを伺います。</p>	<p>村長</p>

番号	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁者
3	第7番 加藤 亮輔	2 通学バスについて 3 消費税10%増税に伴う、国内スキー宿泊者の減少対策	<p>白馬村には、村民が移動するための村内循環バスがなく、不便な状況が続いていました。それを改善するために、①村民・観光客誰でも乗れる循環バスの運行、スクールバスの早期運行、デマンドタクシーの改善を目指して2017年9月に住民組織「走れ村バスの会」が発足。村長及び関係課と協議を重ねてきました。2019年4月にはデマンドタクシーの改善が実施。7月25日に「会」が村長・教育長への要請の時、教育長は通学バスの運行を表明しました。そこで、通学バスの詳細について及び、循環バスについて質問します。</p> <p>1、①通学バスの運行実施日は、②運行に関して保護者の要望を聞く場（検討委員会）を設置するのか、③利用者の基準は、④バスの停留場所は、⑤路線数は何本か、⑥高校生の利用は、⑦料金は無料か</p> <p>2 この冬から試験運行できないか。</p> <p>3、循環バスの検討について、交通事業者等と調整に入るとのことだったが、進捗状況と運行課題をお聞きます。</p> <p>10月から消費税の10%の増額が予定されています。2014年4月の8%への増額時には、全国的に消費不況が起こり、現在も続いています。白馬村での、一般観光客数を比較すると増税前の2013年1,365千人が増税後の14年は1,205千人に16万人減少しています。そこで質問ですが、</p> <p>1、昨年の冬季（2018年12月～3月）国内延宿泊者は何名だったか。また今冬季（2019年12月～3月）の国内延宿泊者の目標設定数は。</p> <p>2、今冬季（2019年12月～3月）のスキー宿泊者減少対策案は。</p>	村長 教育長 村長
4	第10番 田中 榮一	1 インバウンドとオーバーツーリズムについて	<p>「オーバーツーリズム」とは、増えすぎるインバウンド観光客によりさまざまな弊害が起きる事態で、3年ほど前から世界の観光を語るうえで業界でも学術界でも欠かせない言葉となっています。先日議員視察した京都市は交通渋滞等により市民生活が脅かされていて、新たな課題解決のための宿泊税の導入であったようです。白馬村の経済はインバウンド事業に頼るところが多く、大切な収入源となっていることは誰でも認める場所ですが、本村でも少なからず弊害は起きており、特に外国人居住者と地域での新しい共生の在り方について、再構築する必要が求められていることも事実です。そこで今後の方針について伺います。</p> <p>(1)「オーバーツーリズム」という言葉について行政としての見解は</p> <p>(2)白馬村観光地経営計画に「北海道ニセコ地区と、共通の課題解決に向けた連携体制を構築する」と書かれているが現在の状況は</p> <p>(3)村内には、行政が制御できる範疇を超えて開発が進み始めている感があるが、認識と対策は</p>	村長

番号	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁者
4	第10番 田中 榮一	2 東京オリンピック村内聖火リレーについて	<p>国内外から誇れる場所との理由から、2020年東京オリンピック聖火リレールートに白馬村が選ばれました。1998年、白馬ジャンプ台から世界に発信された日本選手の活躍や、苦勞した滑降コース整備等懐かしく思い出されます。ジャンプ台、スノーハープ会場がオリンピックレガシー(遺産)として更なる利活用を期待されての決定だと推測します。多くの村民の皆さんと共に応援したいと思います。次のことについて伺います。</p> <p>白馬の魅力を国内外に発信するいい機会ですが、村として祝うイベント開催の予定はありますか。</p>	村長
		3 山岳景観について	<p>白馬山案内組合は、今年で100周年を迎え記念事業を計画しています。1919年(大正8年)白馬山麓の山案内人25人で「白馬岳登山案内者組合」が設立され、観光立村白馬の礎を築いた先人たちの先見の明にただ驚くばかりです。伝統を受け継がれてきた組合員の皆さんが、これからも白馬の山を愛する人々のためにご活躍されますことを切に願うものです。当時の山案内に携わった人たちに思いを馳せながら次のことについて伺います。</p> <p>(1)村営白馬岳頂上宿舎も、前身の石室建設から100年が経とうとしています。この機会に、村民、組合員、行政3者からなる「山小屋経営在り方検討委員会(仮称)」を設置し、今後の指針を示す考えがありますか。</p> <p>(2)近頃白馬岳の山名を巡る論争が、巻き起こっていますが「シロウマ」か「ハクバ」か、見解を伺います</p>	村長

番号	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁者
5	第5番 伊藤まゆみ	1 観光局について	<p>前定例会の一般質問で、村長の観光局代表理事就任に関する質問をした際、観光のリーダー、すなわち局の代表理事は観光に精通した民間のプロフェッショナルに任せるのがいいという考えだった、といった内容の答弁を頂きました。当村はその観光のプロを育てるべく、過去15年余りに渡り観光局に血税を注いできたというのが、私の認識であります。</p> <p>そこで以下の質問をさせていただきます。</p> <p>①平成27年に行った組織改革で、会員減少という当時の課題は解決されたのかを伺います。</p> <p>②観光局が現在抱えている課題と解決策を伺います。</p> <p>③この冬3年目の最終年となる FWT 後の観光局の冬のメインイベントのお考えを伺います。</p> <p>④来年度も観光局に従来通り負担金を支出する予定かを伺います。</p>	村長
		2 財源、給与・報酬について	<p>観光振興のための財源検討で答申が出され、この答申に基づいた制度設計をすることが課されている状況だと思います。宿泊税に反対する宿泊業者の声の中に、新たな税の負担を課す前に、観光局等への負担金、コンサルや検討委員会への支払い、また特別職や職員の給与を見直すべきではないか、といった意見があります。</p> <p>そこで下記について伺います。</p> <p>①観光財源の制度設計をいつまでにやる予定かを伺います。</p> <p>②財源不足を踏まえて、負担金や協力金の見直しをお考えかを伺います。</p> <p>③過去5年に渡り人事院は公務員の給与引き上げを勧告し、その勧告に基づいて当村も引き上げをして来ました。本年度の予定を伺います。</p> <p>④昨年9月に村長給与が実質的に引き上げられました。採決の際「村長のみ獲得給与総額が改正前より数百万円上回ることにについて、同一政権期間内かつ観光財源検討中などの住民感情を考慮し、それに見合った働きをするならば、待望される観光局代表理事への就任。加えて一定期間・一定額を再度附則にて自主的に減額することが正しい措置」と、引き上げ賛成の討論がありました。この討論内容に対するお考えを伺います。</p>	村長

番号	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁者
6	第2番 丸山勇太郎	1 各種計画の具現化と問題点について 2 駅前無電柱化計画の村単独事業について	<p>下川村政になってからこれまで、それぞれに少なくはない予算を投入して「第5次総合計画」、「観光地経営計画」、「公共施設等総合管理計画」、「観光財源検討」、「地域公共交通網形成計画」。調査では「道の駅を核とした官民連携事業調査」、「木質バイオマス発電・熱利用導入調査」。</p> <p>現在進行形では、「図書館複合施設計画」、「景観計画」、「立地適正化計画」と、多くの計画を作成し、また作成中です。</p> <p>それら多くの計画・調査に予算をかけた割には、成果が見えないもの、将来的な成果が分からないもの、具現化が疑わしいものがあります。</p> <p>また、それぞれの計画には密接な関連性があるにもかかわらず、コーディネートされていません。計画策定自体が目的化してはいないのでしょうか。そこで次を伺います。</p> <p>①村長の残り任期はあと3年です。様々な計画のうち、村長が任期中に是非これだけは「ものにしたい」ものは何か伺います。</p> <p>②作成中のものも含め、それぞれの計画が持つ問題点の認識を伺います。</p> <p>推進条例まで作って切望した白馬駅前無電柱化事業は、願って叶って県事業で来年度から順次着工されますが、それに応える修景や周辺整備は、村が単独事業で行なわなければならないことを知りました。</p> <p>実施計画に記載は無く、想定されていた様子がありませんが、県や地元区の期待に村は応えられるのか。どういった体制で、どの程度のものを計画していくのか、予算の工面はどうするのか伺います。</p>	村長 村長
7	第9番 横田 孝穂	1 人事管理及び職員等の採用について	<p>この度、白馬高校の生徒寮パルハウスの臨時職員の募集にあたって不備があり、相手方より「労働あっせん」を申し立てられたとのこと、これは組織の根幹をなす人事に関する重要な事案であると認識します。そこで今回の事案に鑑み、白馬村や村が関与する公的機関における人事管理と職員等の採用に関して人事管理の責任者である村長・副村長にお伺いします。(職員等とは臨時職員を含む)</p> <p>1, 人事管理について、人事評価制度はどの程度反映されているのか。</p> <p>2, 近年職員の異動期間が1年単位で行われている例があるが異動指針なるものは定められているのか。</p> <p>3, 職員等の採用に関しては、公正公平でなければならないが、職員等の採用指針は定められているのか。</p> <p>4, パルハウス男子寮臨時職員採用に関して、当事者より「労働あっせん」を申し立てられているが、そこに至るまでの経過と今後の対応について。</p>	村長

番号	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁者
7	第9番 横田 孝穂	2 公有財産の管理について	<p>公有財産管理については、先の議会でも白馬山麓組合の施設用地や南部グラウンド用地、ノルウェービレッジ敷地賃貸料などなどについて、取得のための交渉や、賃貸借契約更新など適正な管理がなされているのか伺いましたが、その後どのような改善を行ったのか再度お伺いいたします。</p> <p>1,広域で建設予定であるリサイクルセンターの敷地に関する権利関係処理の進捗状況と、解決の見通しを伺う。</p> <p>2,村有地の売却がホームページに掲載されているが、売却に至る経過と、価格設定は適正か。</p> <p>3,村有地等の民間への貸付件数は、貸付価格は適正か。 (国で示す普通財産貸付事務処理要領に合致しているか)</p>	<p>村長</p> <p>村長</p>
8	第8番 津滝 俊幸	<p>1 職員の採用と人材育成について</p> <p>2 農業振興について</p>	<p>昨今の人材不足や人手不足は地方公務員においてもかなり厳しい状況にあると聞きます。募集しても、なかなか人材が集まらず、また、採用しても早期に退職するなど、我が白馬村でもどのような状況にあるのか。また、住民サービスの充実を図る上においては、将来の不安を残さないように今からしっかりと対応していくべきと考え、次のことについて伺います。</p> <p>①職員募集の状況と採用状況（村内・村外者など）について</p> <p>②将来への人材の確保状況（今後必要とされる人数や人材など）。</p> <p>③技術職・専門職が不足しているが、その対応は。</p> <p>④新規採用者（中途採用者・嘱託職員など）への研修等などどのように行っているか。また、キャリアを積んでいく中での研修方法（試験等）はどう行っているか。</p> <p>⑤村の将来を鑑み、グローバルな人材必要と思うが外国人の採用の考えはあるか。また、現職員へも同様に多様な見識を深める海外研修視察が必要と思うが、その考えはあるか。</p> <p>「農業振興と豊かな自然環境の保全」は下川村長2期目の公約です。</p> <p>圃場整備の推進については北城南部地区で来年度より整備工事に入ると聞いています。しかし、他の優良農地の確保についての進捗状況は見えてきていません。更に特産品開発や将来の農業振興などについて、次のことについて伺います。</p> <p>①白馬村の農業ビジョン及び農業者の担い手不足と将来の農地の維持について</p> <p>②農業委員会の活動内容について</p> <p>③北城中部地区及び北部地区の圃場整備事業の進捗状況について</p> <p>④村有地となった奈良井地籍の管理状況について</p> <p>⑤特産品開発の推進状況について</p> <p>⑥ふるさと納税返礼品における農産物の取り扱い状況について</p> <p>⑦小水力発電による売電積立金の取り扱いについて</p>	<p>村長</p> <p>村長</p>